

令和2年度一般入学試験A日程

小論文課題

〔設問〕

次の文章を読んで、公共における「型」とは何か、あなたの考えを600字以内で述べなさい。

残念ながら、「型」の重要性は、「個性」を重視する戦後の自由主義的な風潮のなかですっかり忘れられてしまったようである。昨今の公衆道徳の低下も、つまるところ伝統的に受け継がれてきた「型」の崩壊によるところが大きいのではないか。

卑近な例を挙げよう。最近、通勤電車のなかでも平気で飲食をする若者が増えた。ビニールの音をガサガサ立てながら、おにぎりやパンをかじっては、ペットボトルに入った飲み物を飲んでいる。下手をすると、油の匂いをぷんぷんさせながらフライド・ポテトやハンバーガーを食べている者やパンのかけらをぼろぼろとこぼしている者までいる。見苦しいことはなはだしいが、一見して誰に迷惑が掛かるわけでもなし、おそらく後ろめたい気持ちは毛頭ないのであろう。

(中 略)

公共の秩序を乱すそのような問題を排除するため、日本人はいちいち理屈をこねず、そのような場での飲食を「行儀が悪い」として忌避してきた。つまり、行儀作法という「型」が、知らず知らずのうちに社会の調和を保ってきたのである。

【斎藤兆史「努力論」より抜粋】